

○計画期間:令和5年4月～令和10年3月(5年)

I. 中心市街地全体に係る評価

1. 令和6年度終了時点(令和7年3月31日時点)の中心市街地の概況

本市では、令和5年3月に計画の認定を受け、「暮らす・働く・訪れ遊ぶ 魅力共創の『おまち』へ」を目指し、認定基本計画に登載のハード・ソフトあわせて59事業を実施している。

ハード面では、令和6年度末にはりまや橋・葉山庭園よさこい公園内のはりまや橋や横堀公園の整備、「ビ・ウェル菜園場」の竣工、オーテピア西敷地をイベント開催や市民が多目的に利用できる「おまち多目的広場」として整備するなど、居住環境の整備が順調に進捗している。また、人流等のデータを取得するシステムの整備を行うため、人流分析システム(AIカメラ)を導入した。これにより、これまで入手することが困難であった性別や年代、曜日や時間毎のリアルタイムな人の動きを把握することが可能となった。今後、入手できる情報等の活用をしながら、商店街の活性化に向けた取組や各個店の経営のデジタル化による経営改善等への展開に活かす。

ソフト面では、過去最多となった令和5年度(56隻)に次ぐ53隻のクルーズ船寄港や、台湾からの定期チャーター便ツアー客等により、外国からの観光客が非常に増加しており、これに対応するため、「おまちぐるっとWi-Fi」のサービスを開始した。国内外合わせた県外旅行客についてもNHK連続テレビ小説「らんまん」の放送という大きな増加要因のあった令和5年度にはかなわなかったものの、令和4年度と比べると増加しており、国内外からの観光客に対応すべく、商店街では各種イベントの開催やインバウンド対策を実施している。

以上の取組により、目標指標に対する令和6年度の達成状況は、「中心市街地の居住人口」はマンション整備等が順調に進捗し、目標値5,776人に対し実績値5,825人と目標値を超える数値に、「中心市街地の歩行者通行量」は114,913人と目標達成とはならなかったが、前年度に対し4.3%増となっている。この増加率を引き続き継続していけるようインバウンド対策を強化するとともに、令和6年度に整備したおまち多目的広場の活用や人流分析システムを用いた商店街の活性化に向けた取組を継続していくことで目標達成は可能と見込まれる。

【中心市街地の状況に関する基礎的なデータ】

(1) 居住人口

(基準日：毎年度1月1日) 単位：人

(中心市街地区域)	令和4年度 (計画前年度)	令和5年度 (1年目)	令和6年度 (2年目)	令和7年度 (3年目)	令和8年度 (4年目)	令和9年度 (5年目)
人口	5,767	5,796	5,744			
人口増減数	226	29	-52			
自然増減数	-60	-79	-111			
社会増減数	287	114	61			
その他の増減数 (帰化・国籍喪失等)	-1	-6	-2			
転入者数	692	522	514			

(データ：住民基本台帳)

(2) 店舗数

(基準月：毎年12月)

(中心市街地区域)	令和4年度 (計画前年度)	令和5年度 (1年目)	令和6年度 (2年目)	令和7年度 (3年目)	令和8年度 (4年目)	令和9年度 (5年目)
中心市街地全体	547	544	547			
はりまや橋商店街	38	35	34			
京町・新京橋商店街	48	49	47			
壱番街商店街	32	31	31			
帯屋町一丁目商店街	86	87	87			
帯屋町二丁目商店街	45	46	46			
おびさんロード商店街	45	46	49			
中の橋商店街	50	47	48			
柳町商店街	64	65	69			
大橋通り商店街	36	36	38			
魚の棚商店街	18	20	18			
天神橋通商店街	31	31	31			
菜園場商店街	54	50	50			
升形商店街	36	37	34			

(データ：「商店街空き店舗調査」(高知市、高知商工会議所実施))

※複数商店街への重複店があるため、中心市街地全体の店舗数は各商店街の店舗数合計と一致しない。

(3) 地価

(基準日：毎年度1月1日)

単位：円

(中心市街地地域)	令和4年度 (計画前年度)	令和5年度 (1年目)	令和6年度 (2年目)	令和7年度 (3年目)	令和8年度 (4年目)	令和9年度 (5年目)
中心市街地全地点の平均	188,500	189,750	192,500			
本町1丁目38番1外(※1)	251,000	254,000	265,000			
廿代町318番	134,000	133,000	133,000			
升形52番	141,000	140,000	140,000			
本町2丁目104番	158,000	160,000	162,000			
はりまや町1丁目108番(※2)	216,000	217,000	219,000			
帯屋町1丁目170番外	260,000	265,000	269,000			
はりまや町1丁目333番1外	180,000	181,000	182,000			
本町5丁目52番	168,000	168,000	170,000			

(データ：国土交通省地価公示・都道府県地価調査)

※1 本町1丁目38番1外の調査地点については、令和6年度までは本町1丁目29番外、令和7年度から現地番
 ※2 はりまや町1丁目108番の調査地点については、平成29年度までははりまや町3丁目76番、平成30年度から現地番

2. 令和6年度の取組等に対する中心市街地活性化協議会の意見

高知市中心市街地活性化基本計画における令和6年度の取組は、ハード事業については、中心市街地において、民間分譲マンションの建設や都市公園の再整備、おまちの賑わいを創出するスペースとしての「おまち多目的広場」整備が完了するなど、居住環境の向上に向けた事業が順調に実施され、中心市街地の居住人口は目標値を超える数値となった。

ソフト事業については、台湾定期チャーター便の就航やクルーズ船寄港数増を要因とする外国人観光客の増も含め、国内外合わせた県外観光客が堅調に増加しており、観光客の利便性を高めるために、無料公衆無線LAN「おまちぐるっとWi-Fi」のサービスを開始し、商店街ではおもてなしイベントの開催やインバウンド対策を実施している。その他、人流分析システム(AIカメラ)の導入により、リアルタイムな人の動きの把握が可能となったことから得られる、様々な属性データを活用した施策展開に向け検討を進めている。こういった取組の成果もあり、令和2年度に新型コロナウイルス感染症拡大で落ち込んだ中心市街地の賑わいが戻りつつある。

参考指標である「営業店舗数」や「新規出店数」について徐々に回復傾向ではあるが、目標値には至っていない。背景には新型コロナウイルス感染症拡大による消費行動の変化や、インターネット通販の定着、物価高騰による消費抑制等が要因と推察される。

以上を踏まえ、物価高騰や人口減少、DX推進等による社会の変化に対応するとともに、当事業の中核をなす商店街の自主的・自発的な活動もさらに加速し、引き続き中心市街地の活性化を官民が連携して取り組むことにより、地域経済における新たな需要や投資を喚起し、中心市街地の更なる活性化に向けたまちづくりが進捗することを期待する。

II. 目標ごとのフォローアップ結果

1. 目標達成の見通し							
目標	目標指標	基準値	目標値	最新値	基準値からの改善状況※1	目標達成に関する見通し※2	
						前回の見通し	今回の見通し
暮らすにも働くにも「ぼっち」なまち	中心市街地の居住人口	5,529人 (R3末)	5,776人 (R9末)	5,825人 (R6末)	A	A	A
	中心市街地の社会増減数 【参考指標1】	75人 (R3)	92人 (R9)	61人 (R6)	C	—	—
	中心市街地商店街の営業店舗数 【参考指標2】	552店舗 (R3)	571店舗 (R9)	547店舗 (R6)	C	—	—
	中心市街地の新規出店数 【参考指標3】	64店舗 (H29～R3累計)	85店舗 (R5～R9累計)	17店舗 (R5～R6累計)	C	—	—
おまちのさらなる魅力向上と賑わいの回復	中心市街地の歩行者通行量 (17地点)	104,188人 (R3)	128,004人 (R9)	114,913人 (R6)	B	A	A
	拠点施設入館者数(4施設) 【参考指標1】	1,020,017人 (R3)	1,600,350人 (R9)	1,360,963人 (R6)	B	—	—
	中心市街地商店街の空き店舗率 【参考指標2】	15.8% (R3)	14.4% (R9)	15.2% (R6)	B	—	—
	宿泊者数 【参考指標3】	119万人泊 (R元)	127万人泊 (R9)	107万人泊 (R6)	C	—	—
<p><基準値からの改善状況(※1)> 最新値が基準値や目標値と比較してどうであるかで判断 A：目標達成、B：基準値より改善、C：基準値に及ばない</p> <p><目標達成に関する見通しの分類(※2)> 計画終了時の数値が、基準値や目標値と比較してどのような見通しかで判断 A：目標達成が見込まれる B：目標達成が見込まれないが基準値を上回ることが見込まれる C：目標達成及び基準値を上回ることが見込まれない</p> <p>※「<基準値からの改善状況(※1)>」、<目標達成に関する見通しの分類(※2)>ともに、関連する事業等の進捗状況が順調でない場合は、英字を小文字にして下線を引いて下さい。(例：<u>a</u>、<u>b</u>、<u>c</u>)</p>							

2. 目標達成見通しの理由

中心市街地の居住人口については、民間分譲マンションの整備等により、平成 29 年度以降概ね増加し続けている。令和 6 年度の最新値（調査日：令和 7 年 4 月 1 日）は、前年度の 5,755 人から 70 人増の 5,825 人となり、目標値を超える数値となった。令和 6 年度末に横堀公園やおまち多目的広場の整備が完了し、居住環境の向上が図れていることから、今後ソフト面での支援を強化していくことで、さらなる居住人口の増加が期待できる。

もうひとつの目標指標である歩行者通行量については、令和 6 年度最新値は 114,913 人と目標値には達していないものの、前年度に対し 4.3% 増となっており、外国人観光客増に対応するインバウンド対策やおまち多目的広場の利活用を推進していくことでさらなる増加率が期待でき、目標達成は可能と見込まれる。

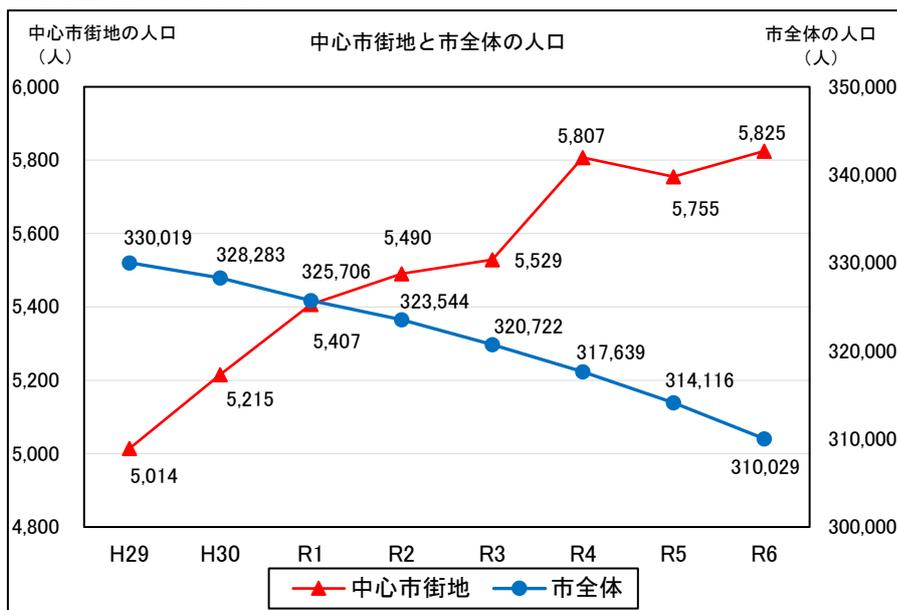
3. 前回のフォローアップと見通しが変わった場合の理由

前回フォローアップと見通しは変わっていない。

4. 目標指標ごとのフォローアップ結果

(1) 「中心市街地の居住人口」※目標設定の考え方認定基本計画 P63～P64 参照

●調査結果と分析



年	(単位)
R 3	5,529 人 (基準年値)
R 4	5,807 人
R 5	5,755 人
R 6	5,825 人
R 7	
R 8	
R 9	5,776 人 (目標値)

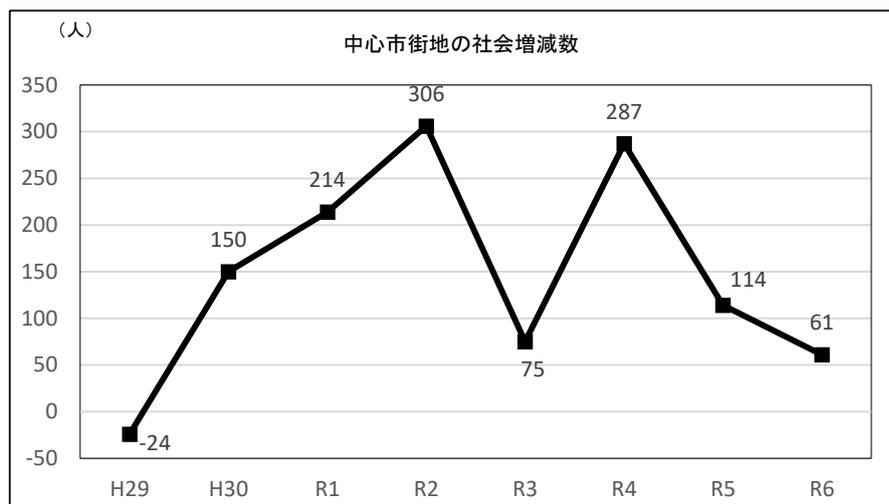
※調査方法：基本計画区域内の町丁目別及び市全体の住民基本台帳人口

※調査月：毎年 4 月 1 日

※調査主体：高知市

※調査対象：基本計画区域内及び高知市の居住者

<参考指標 1> 中心市街地の社会増減数 ※目標設定の考え方認定基本計画 P65 参照



年	(単位)
R 3	75 人 (基準年値)
R 4	287 人
R 5	114 人
R 6	61 人
R 7	
R 8	
R 9	92 人 (目標値)

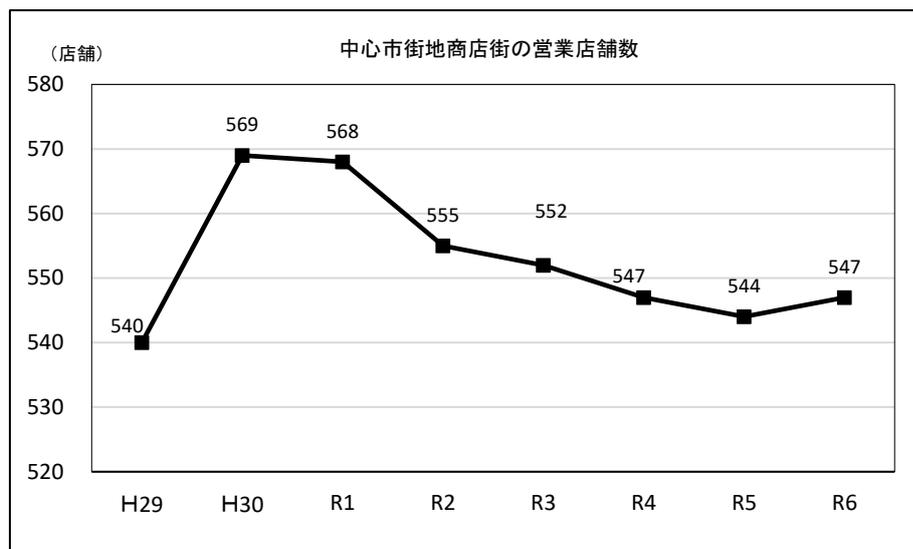
※調査方法：基本計画区域内の町別異動件数及び町別市内間異動件数

※調査月：毎年度 1 月 1 日

※調査主体：高知市

※調査対象：基本計画区域内の転入数と転出数の差

<参考指標 2> 中心市街地商店街の営業店舗数 ※目標設定の考え方認定基本計画 P66 参照



年	(単位)
R 3	552 店舗 (基準年値)
R 4	547 店舗
R 5	544 店舗
R 6	547 店舗
R 7	
R 8	
R 9	571 店舗 (目標値)

※調査方法：商店街の 18 区域において、毎年 12 月を目安に実施。

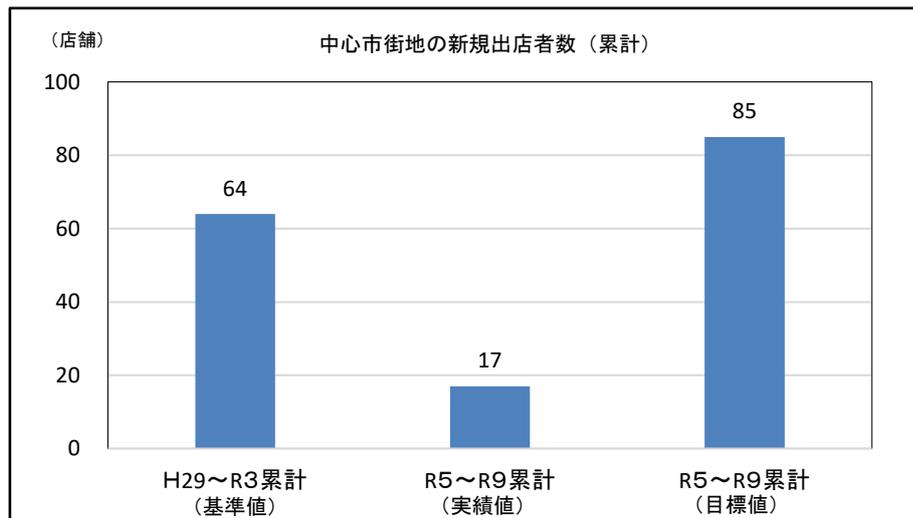
区域内の 1 階路面店を対象に空き店舗数、営業店舗数等を調査。

※調査月：毎年 12 月

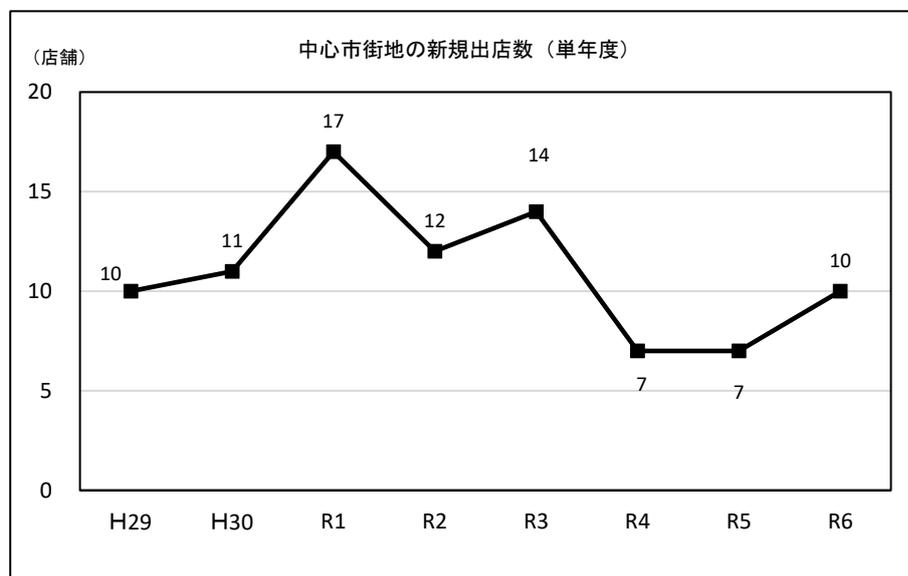
※調査主体：高知市，高知商工会議所

※調査対象：中心市街地商店街（はりまや橋商店街，京町商店街，新京橋商店街，壱番街商店街，帯屋町一丁目商店街，帯屋町二丁目商店街，おびさんロード商店街，中の橋商店街，柳町商店街，大橋通り商店街，魚の棚商店街，天神橋通商店街，菜園場商店街，升形商店街）

<参考指標3> 中心市街地の新規出店数 ※目標設定の考え方認定基本計画 P68 参照



年	(単位)
H29~ R3累計	64 店舗 (基準値)
R5~ R9累計	17 店舗 (実績値)
	85 店舗 (目標値)



年	(単位)
R3	14 店舗
R4	7 店舗
R5	7 店舗
R6	10 店舗
R7	
R8	
R9	

※調査方法：「空き店舗を活用した創業支援サポート事業」を活用し、中心市街地エリアに出店した店舗数を集計。

※調査月：令和6年度

※調査主体：高知市

※調査対象：中心市街地エリア（高知市空き店舗活用創業支援事業費補助金で定める中心商店街及び商店街を除く中心市街地）

<分析内容>

令和6年度の最新値（調査日：令和7年4月1日）における市全体の人口は310,029人と減少が続いているのに対し、中心市街地の居住人口は5,825人と令和5年度より増加し、目標値を超える結果となった。これは令和6年度に民間分譲マンションが竣工したことが大きな要因であると考えられる。

新規出店数や営業店舗数は昨年度に比べると増加したものの、新型コロナウイルス感染拡大前の数には達していない。背景には新型コロナウイルス感染症拡大の影響後、インターネット販売の普及など、消費者のライフスタイルの変化が起因していると考えられる。

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. 藤並公園整備事業（高知市）

事業実施期間	平成 30 年度～令和 5 年度【済】
事業概要	来街者の憩いの場としての再整備の実施
国の支援措置名及び支援期間	都市構造再編集中支援事業（国土交通省）（令和 2 年度～令和 5 年度）
事業目標値・最新値及び進捗状況	令和 6 年 3 月 22 日に整備工事が完了し、同日開放。来街者の憩いの場が整備されたことで、利便性及び回遊性の向上し、その結果整備が完了した翌年度で、中心市街地の居住人口が 70 人増加した。 ・計画：公園整備による居住環境の向上により 267 人の居住人口増加見込み （令和 9 年度居住人口推計値 5,343 人の 5%）
事業の今後について	更なる回遊性の向上や地元購買による経済の活性化につながるよう引き続き各事業に取り組んでいく。

②. 空き店舗を活用した創業支援サポート事業（高知県，高知市，高知商工会議所）

事業実施期間	平成 25 年度～令和 9 年度【実施中】
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業（総務省）（令和 5 年度～令和 9 年度）
事業概要	中心市街地や商店街の空き店舗を活用して出店する新規創業者等への支援
事業目標値・最新値及び進捗状況	ハード面では空き店舗を活用して商店街等で出店される方に店舗改修費の支援を行った。 （令和 6 年度補助実績：6 件） ソフト面では空き店舗を活用し中心市街地で新たに創業する出店者に対し店舗賃借料等を補助する支援や移住者向けに仲介手数料の補助を実施。 （令和 6 年度補助実績：10 件，うち移住者向け仲介手数料補助 5 件） ・計画：多様な店舗の集積による居住環境の向上により 267 人の居住人口増加見込み （令和 9 年度居住人口推計値 5,343 人の 5%）
事業の今後について	令和 7 年度からは若年層の方を対象に店舗賃借料の補助率をあげ、さらなる活用を図っていきながら、引き続き商店街等の空き店舗を活用して新規出店する事業者を支援する。また、各支援機関と連携しながら創業希望者が抱える課題の解決及び情報の共有を図る。

③. 「ビ・ウェル追手筋」整備事業（和建设株式会社）

事業実施期間	令和 5 年度【済】
事業概要	追手筋一丁目地区における商業店舗と共同住宅の複合施設整備
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし

事業目標値・最新値及び進捗状況	令和5年11月竣工。住居戸数30戸のマンションが整備されたことにより、追手筋一丁目地区の居住人口が竣工前後で11人増加。 ・計画：住居戸数30戸 48人の居住人口増加見込み (1戸あたり平均1.61人と仮定)
事業の今後について	増加した人口について更なる回遊性の向上や地元購買による経済の活性化につながるよう引き続き各事業に取り組んでいく。

④ 「ビ・ウェル菜園場」整備事業（和建设株式会社）

事業実施期間	令和5年度～令和6年度【済】
事業概要	菜園場町地区における民間分譲マンションの整備
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	令和7年3月竣工。住居戸数52戸のマンションが整備されたことにより、菜園場町地区の居住人口が竣工前後で119人増加。 ・計画：住居戸数52戸 84人の居住人口増加見込み (1戸あたり平均1.61人と仮定)
事業の今後について	増加した人口について更なる回遊性の向上や地元購買による経済の活性化につながるよう引き続き各事業に取り組んでいく。

⑤. 移住・定住促進事業（高知市）

事業実施期間	平成27年度～令和9年度【実施中】
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業概要	街の魅力や移住・定住に関する情報発信、三世同居等となる子育て世帯の転入・定住費用に対する支援など、移住・定住を促進するための各種施策を実施するもの
事業目標値・最新値及び進捗状況	ホームページ・SNS等において、高知市の生活のしやすさ、利便性が高いことについて情報発信を行った。また、移住希望者を対象とした各種補助金やツアー等を実施。 ・街なかをはじめとする市内を案内するガイドツアー（令和6年度実績：13件） ・高知県内への二段階移住を考えている方に一段階目の移住・滞在場所となる高知市でのお試し移住費用等の補助（令和6年度実績：11件） ・本市へのUIターンにおける家族形態やライフスタイルに合わせ引っ越し費用や物件費用に係る支援の補助（令和6年度実績：33件） ・計画：県外からの移住組数のうち、中心市街地に居住する世帯割合と5年間の人口増を加味し、34人の居住者増加を見込む。
事業の今後について	引き続き、移住希望者を対象としたガイドツアーの実施や各種補助の実施等により、移住・定住の促進に向けた支援を行っていく。

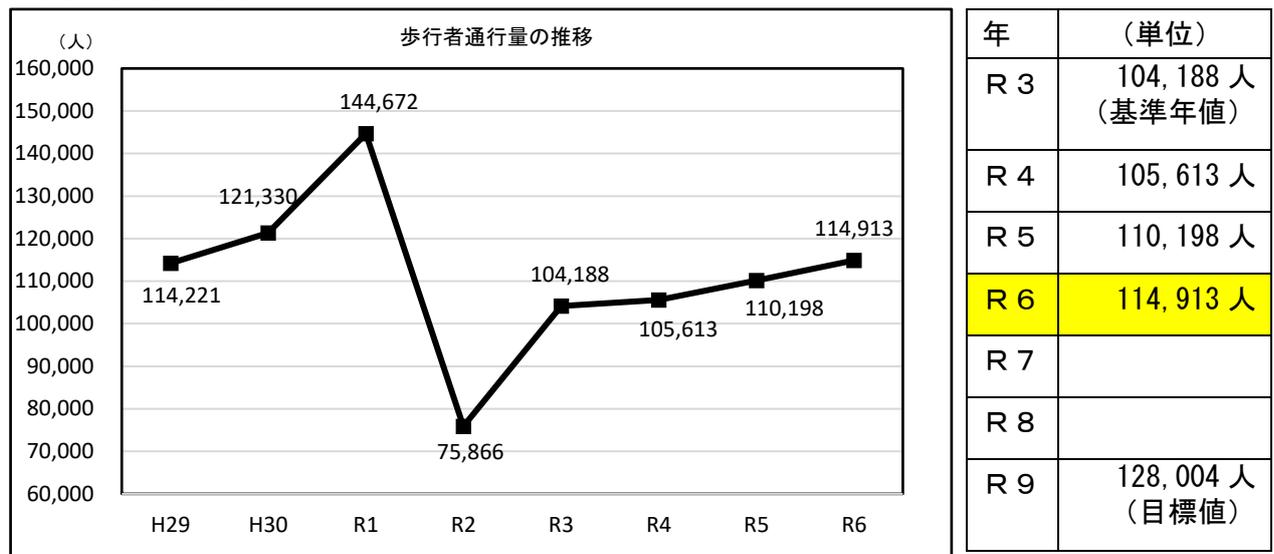
●目標達成の見通し及び今後の対策

目標指標である中心市街地の居住人口については、民間分譲マンションの整備等により、平成29年度以降概ね増加し続けている。令和6年度の最新値（調査日：令和7年4月1日）は、前年度の5,755人から70人増の5,825人となり、目標値を超える数値となった。令和6年度末に横堀公園やおまち多目的広場の整備が終了し、居住環境の向上が図れていることから、今後ソフト面での支援を強化していくことで、引き続きの目標達成が可能と見込まれる。

(2) 「歩行者通行量（17地点・冬季・平日休日2日の合計）」

※目標設定の考え方基本計画P70～P72参照

●調査結果の推移



※調査方法：中心市街地内の17地点において、毎年12月の第3金曜日及び日曜日に実施。
10時～18時の間に通行する歩行者を計測。

※調査月：令和6年12月

※調査主体：高知市、高知県商店街振興組合連合会

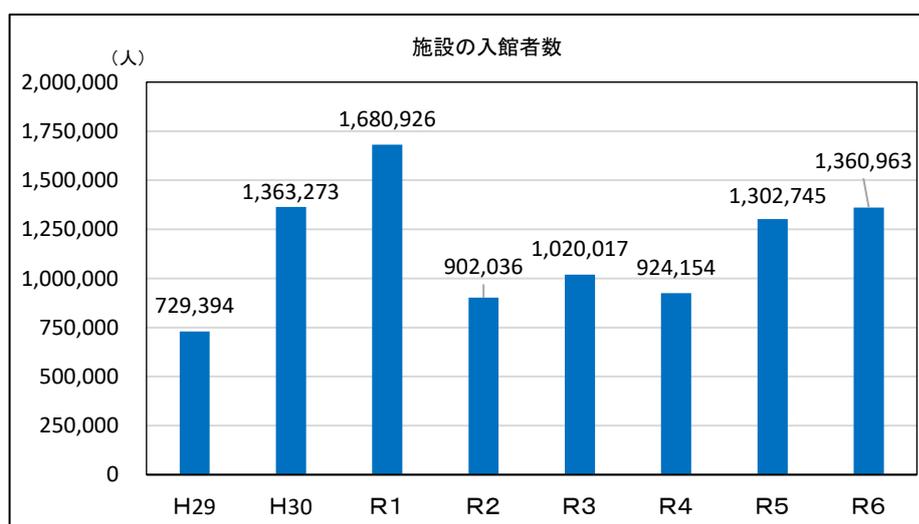
※調査対象：中心市街地内17地点の歩行者



(単位：人)

	令和4年度 (計画前年度)	令和5年度 (1年目)	令和6年度 (2年目)	令和7年度 (3年目)	令和8年度 (4年目)	令和9年度 (5年目)
大橋通り商店街	7,026	7,758	8,070			
帯屋町二丁目商店街	16,869	18,204	18,273			
帯屋町一丁目商店街	17,078	19,205	20,145			
おびさんロード商店街	3,078	5,046	5,244			
壱番街商店街	8,619	8,274	8,049			
新京橋商店街	5,845	5,037	4,839			
京町商店街①	5,367	4,770	5,206			
京町商店街②	6,120	5,403	6,045			
はりまや橋商店街	4,419	4,113	4,755			
はりまや橋東上	3,429	2,922	4,911			
菜園場商店街	1,176	1,080	804			
升形商店街	1,314	1,239	836			
天神橋通商店街	2,754	2,835	2,427			
四国銀行帯屋町支店前	7,162	7,699	9,236			
ひろめ市場東	7,312	7,476	7,576			
オーテピア東	5,137	5,986	5,194			
高知橋南詰	2,908	3,151	3,303			
合計	105,613	110,198	114,913			

<参考指標 1> 拠点施設入館者数 ※目標設定の考え方認定基本計画 P73～P74 参照



年	(単位)
R 3	1,020,017 人 (基準年値)
R 4	924,154 人
R 5	1,302,745 人
R 6	1,360,963 人
R 7	
R 8	
R 9	1,600,350 人 (目標値)

※調査方法：拠点施設（4施設）ごとに日常的に計測し、年間入館者数を集計

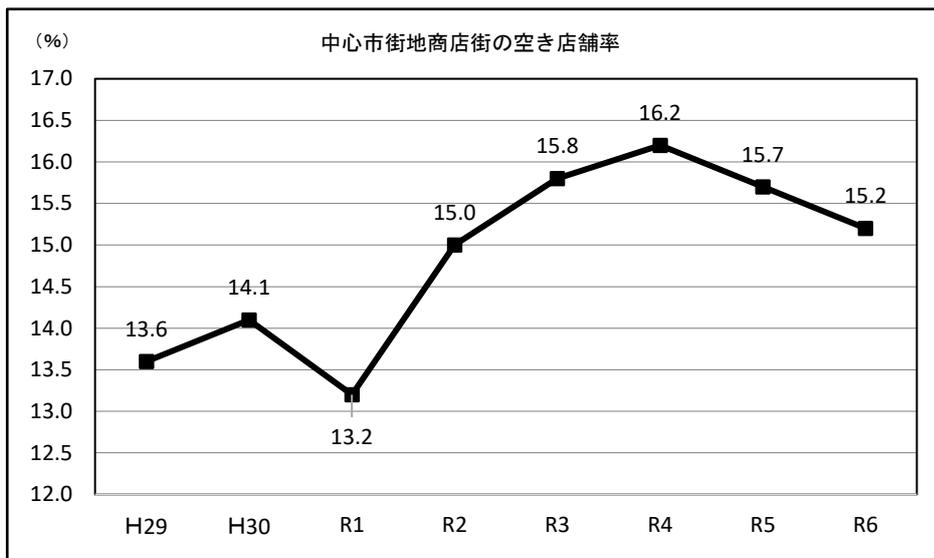
※調査月：毎年4月

※調査主体：高知県、高知市

※調査対象：オーテピア、高知城歴史博物館、かるぼーと、高知よさこい情報交流館の4施設（H29年度はオーテピアが開館前のため、3施設の入館者数の合計値）

<参考指標 2> 中心市街地商店街の空き店舗率

※目標設定の考え方認定基本計画 P75 参照



年	(単位)
R 3	15.8% (基準年値)
R 4	16.2%
R 5	15.7%
R 6	15.2%
R 7	
R 8	
R 9	14.4% (目標値)

※調査方法：商店街の18区域において、毎年12月を目安に実施。

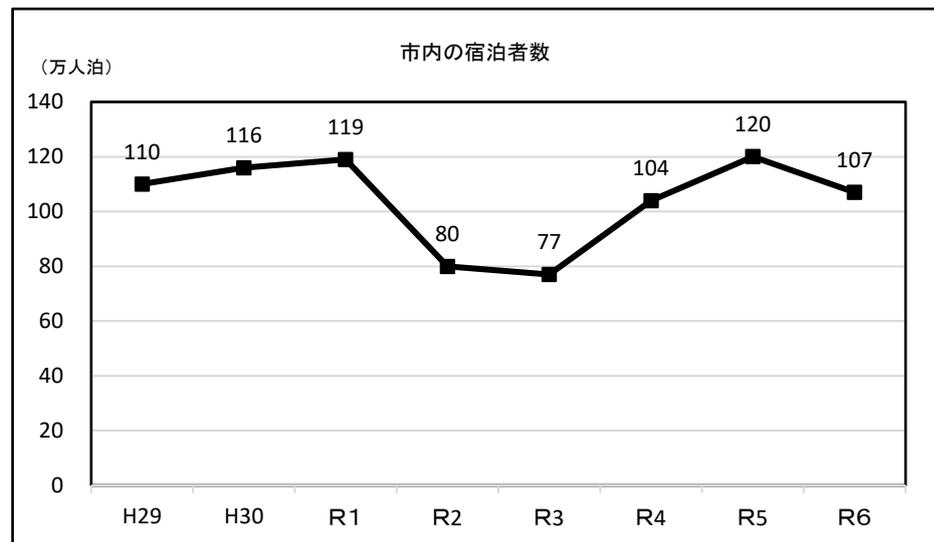
区域内の1階路面店を対象に空き店舗数、営業店舗数等を調査。

※調査月：毎年12月

※調査主体：高知市、高知商工会議所

※調査対象：中心市街地商店街（はりまや橋商店街、京町商店街、新京橋商店街、壱番街商店街、帯屋町一丁目商店街、帯屋町二丁目商店街、おびさんロード商店街、中の橋商店街、柳町商店街、大橋通り商店街、魚の棚商店街、天神橋通商店街、菜園場商店街、升形商店街）

<参考指標 3> 宿泊者数 ※目標設定の考え方認定基本計画 P76 参照



年	(単位)
R元	119万人泊 (基準年値)
R 4	104万人泊
R 5	120万人泊
R 6	107万人泊
R 7	
R 8	
R 9	127万人泊 (目標値)

※調査方法：観光庁「宿泊旅行統計調査」月別市区町村別集計 延べ宿泊者数（従業者数10人以上）

※調査月：各月

※調査主体：観光庁

※調査対象：従業者数10人以上の施設における市内宿泊者

(分析内容)

中心市街地では平成 27 年度以降、拠点施設が続いて整備され、新たな人の流れや賑わいが生まれたことに伴い、令和元年度の歩行者通行量は 144,672 人と、本市が中心市街地基本計画の取組を開始した平成 24 年度以降最も高くなっていた。しかし、令和 2 年度は新型コロナウイルス感染症拡大により来街者が大幅に減少し、令和 3 年度以降は回復傾向にあるが、令和 6 年度時点で 114,913 人と目標値まではいたっていない。拠点施設入館者数や宿泊者数については、NHK 連続テレビ小説「らんまん」の放送があった令和 5 年度にはかなわなかったものの、令和 4 年度に比べると増加している。空き店舗率は令和 4 年度以降改善がみられたものの、新規出店数が伸び悩んでおり目標値には届いていない。

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

① 高知大丸「OMACHI360（おまち さんろくぜろ）」の展開（高知大丸，高知市）

事業実施期間	令和 5 年度～令和 9 年度【実施中】
事業概要	高知大丸において地場産品等を提供する集客拠点を整備・運営するもの。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	「OMACHI360（おまち さんろくぜろ）」にて、高知市及びれんけい市町村の「れんけいブース」設置による地場産品等の展示販売、「チャレンジショップ」、「チャレンジキッチン」の設置による、販売場所の創出を図り、誘客促進事業として、大丸前アーケード内にてマルシェを展開した。 ・計画：周辺商店街等（東エリア）の歩行者通行量が令和 9 年度推計値 26,039 人の歩行者通行量に対して 5%（1,302 人）増加見込み
事業の今後について	OMACHI360 のうち、チャレンジキッチン、チャレンジショップ、セレクトショップは事業展開が困難となったため、撤退。このほかの内容については継続して実施していく。

② おまち多目的広場利活用事業（高知市，民間事業者）

事業実施期間	平成 25 年度～令和 9 年度【実施中】
事業概要	オーテピアに隣接する市有地を活用した中心市街地活性化事業を実施するもの。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	イベントの開催や市民が多目的に利用でき、にぎわいや憩いを創出するスペースとして利用できるよう、各種イベントを開催しやすいアスファルト舗装を施して整備し、令和 7 年 3 月 15 日にグランドオープンした。

	<ul style="list-style-type: none"> 計画：西敷地周辺商店街（西エリア）の歩行者通行量が令和9年度推計値 67,691 人の歩行者通行量に対して5%（3,385 人）増加見込み
事業の今後について	イベント活用を推進し、市民の方に利活用してもらえよう周知を行っていく。

③ 商店街イベント事業（高知市，商店街）

事業実施期間	平成 25 年度～令和9年度【実施中】
事業概要	各商店街がそれぞれの特色を活かしたイベントを開催するもの。
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業（総務省）（令和5年度～令和9年度）
事業目標値・最新値及び進捗状況	<p>中心商店街を会場にしたイベント（高知大道芸フェス，土曜夜市，龍馬生誕祭，イルミネーションフェスタ，クリスマスマーケット等）を実施し，中心市街地の賑わい創出に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 計画：歩行者通行量が令和9年度推計値 98,361 人に対して5%（4,918 人）増加見込み
事業の今後について	引き続き各商店街がそれぞれの特性を生かしたイベントを実施していく。

④ シェアサイクル事業（高知市）

事業実施期間	令和5年度～令和9年度【実施中】
事業概要	中心市街地を快適に回遊できるシェアサイクルの導入の検討及び実施するもの。
国の支援措置名及び支援期間	都市再生整備計画道路占用許可の特例，都市公園の占用許可の特例（活用予定）（国土交通省）（令和5年度～令和9年度）
事業目標値・最新値及び進捗状況	<p>令和6年度にサイクルポートを1か所新たにオープンし，計6か所で稼働していたが，令和6年9月から事業中止。</p> <p>令和7年3月28日に高知市中心市街地内でシェアサイクル事業を開始する株式会社ダイセイと「シェアサイクル事業に関する基本協定」を締結した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 計画：1日あたり利用者数 30台×0.5（回転率目標値）＝15人 15人×3か所×2日間（平日・休日）＝90人増加見込み
事業の今後について	<p>締結した協定に基づき，株式会社ダイセイが高知駅前，東洋電化中央公園ポート，オーテピア遊歩道，はりまや橋観光バスターミナルの4か所に総台数20台の自転車を設置し，令和7年4月4日から稼働開始。</p> <p>高知市は市有地の貸付け等を通じて，サイクルポート設置のサポートを行う。</p>

●目標達成の見通し及び今後の対策

目標指標である歩行者通行量については、新型コロナウイルス感染症の拡大により来街者数が大幅に減少した令和2年度に比べると令和3年度以降増加しているが、令和6年度最新値は114,9113人と目標値には達していない。前年度に対して4.3%増となっており、外国人観光客増に対応するインバウンド対策やおまち多目的広場の利活用を推進していくことでさらなる増加率が期待でき、目標達成は可能と見込まれる。